

電源コードを束ねた場合の家電機器への通電試験

1 試験目的

家電機器の電源コードを束ねた時、消費電力がどれくらい増えるのかを確認する。また、電源コードの表面温度がどの程度上昇するかを確認する。

2 供試品

A社製電熱ヒーター

定格消費電力：800W

設定：5（5段階切替のうち、最強）

3 試験方法

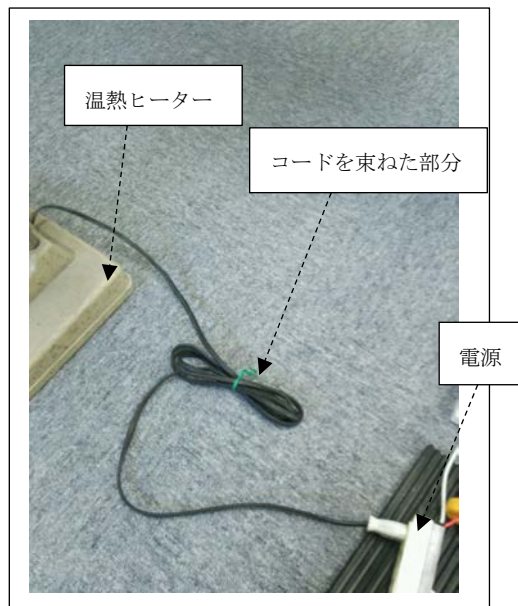
(1) 電源コードが「通常の状態」（自然に伸ばした状態：亘長2m）の、消費電力とコード表面温度を測定した。

(2) 電源コードを「束ねた場合」（写真1のように5重に束ね、亘長約50cmになるようにした）の、消費電力とコード表面温度^{※1}を測定した。

※1 コードを束ねた部分の表面温度

4 評価方法

上記3（1）（2）について、通電開始からコード表面温度が安定している6時間後～8時間後の消費電力、電流、コード表面温度の平均値を算出した。



写真：コードを束ねた状態